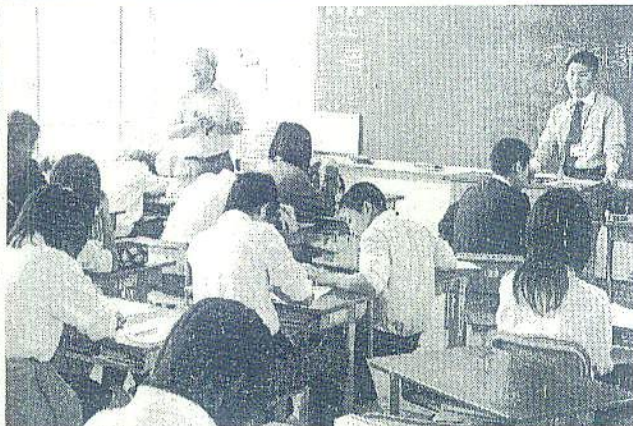


北宇治中

提案型の福祉 プログラム展開

北宇治中学校(榎島町島前、坂井雄一校長)では4月〜7月まで1学期中に20時間にわたる「次世代の担い手育成事業」と銘打った3年生の福祉体験プログラム



課題解決に向けた提案型の福祉プログラムを展開している北宇治中の福祉学習のひとつ

ラムを展開している。3人に1人が高齢を迎え、5人に1人は75歳以上になる25年後の日本を支える中学生た

ち自身に、福祉の現状や今後の課題を理解してもらい、老人福祉、障害福祉、児童福祉の職場体験を通して自分

たちで何ができるかを考え、振り返り学習で見つけた課題や解決策を提案し、チームごとに発表してもらう。

福祉を担当する宇治市の職員や障害者施設スタッフなどを迎えた座学で福祉の現状や課題について学んだ生徒たちは、職場体験に向けて自分たちに何ができるかを話し合い。

きょう16日に職場訪問し、現場を体験した自身の目で課題を見つけ、その改善策を提案。7月からは専門家を迎えて提案を磨き上げ、発表する予定だ。

【岡本幸一】

石碓 簡 辻本石材店